



学校だより

やさとっ子

四日市市立八郷小学校

第 22 号

令和 4年10月31日

めざす子どもの姿：かしこい子 あたたかい子 たくましい子

子ども防災探検隊～まち歩き～4年生

21日(金)、八郷地区連合自治会・八郷地区防災連絡協議会の皆様とともに、4年生が、「子ども防災探検隊」として、災害からの被害や身近にひそむ危険を防いだり減らしたりするための備えや工夫を見つけるために、町別に分かれて、まち歩きをしました。

いっしょに歩いてくださる方に教えていただきながら、自分の住む町の施設・設備を見つれたり、ここは気をつけなくてはいけないという所を写真に撮ったりしてきました。このあとは、防災マップとして仕上げ、11月25日(金)にお世話になった方を中心に発表会をしたり、校内のみんなに発信したり、同じ八郷地区の小学校である八郷西小学校の4年生と交流会を行ったりする予定です。

ところで、みなさんは、学校の東門の横にある「防災倉庫」のことを知っていますか。4年生は、まち歩きに出かける前に、この中にあるものを、体育館に並べて説明していただきました。主に、学校が避難所になったときに使うためのものがありました。ヘルメット、毛布(圧縮されてぺちゃんこになっている)、紙オムツ、簡易トイレ、簡易テント(小さく折りたためる)、発電機、工具などたくさんの種類がある上に、大勢の人の分までたくさん保管されていることがわかりました。

「備えあれば憂いなし」=万が一に備えてあらかじめ準備をしておけば、何か起きても心配がない。～と言いますが、普段から「備え」をしておくことはとても大切です。また、自分の命は自分で守る、みんなと協力して守るということもできるようにしましょう。

朝夕、寒くなりましたね

寒くなってきたので、登下校のときに、ポケットに手を入れて歩く人を見かけます。手ぶくろをはめたり、ネックウォーマーを使ったりしましょう。

耳当て(音が聞こえにくくなる)、マフラー(端の部分が伸びているので何かに引っかかるかもしれない)は使えません。

学校生活におけるマスクの着用について

文部科学省から「新型コロナウイルス感染症対策と季節性インフルエンザの同時流行に備えた対応」が出されたこと、厚生労働省から、マスクの着用について改めてリーフレットが作成されたことを受け、これまでと大きく変わるものではありませんが、四日市市教育委員会から、場面に応じた適切なマスクの着脱を行うこととして、次のような説明・指示がありました。(いっしょに配付したリーフレットも見てください。)

①十分な身体的距離(めやす2m)が確保できる場合には着用の必要はない。

②季節を問わず、体育の授業中や運動部活動の活動中、登下校の際には、感染対策上の工夫や配慮を行いながら、マスクを外すよう指導する。

これまでは、「暑いから」「熱中症の危険があるから」マスクを外すイメージがありましたが、「季節を問わず」、体育の授業中、休み時間の外遊び、登下校の際には、マスクを外すようにし、距離を取って会話をするようにします。

③様々な理由から、マスクの着脱ができない児童生徒に対して配慮すること

花粉症やアレルギー症状を防ぐためやその他の理由によりマスクをつける人、反対に、息苦しさやマスクに対する過敏さがあるなどの理由によりマスクを外す人もいます。状況に応じた配慮をしていきます。

今後の感染対策について

これまで通り、本人または同居の家族に、発熱に限らず、咽頭痛や咳・頭痛など、普段と異なる症状がある場合には登校を控えていただきますようお願いいたします。

学校では、手洗い、距離をとる、換気をするなどの基本的な感染対策は継続します。

これから寒くなるので、教室内ではエアコン(暖房)を活用しますが、二酸化炭素濃度を測定し注意を払いながら、窓やドアを対角線で開けて常時換気したり、休み時間には大きくドアを開けて換気したりします。お子さんと相談しながら、寒いときには必要に応じて室内でも着られる上着を用意してください。

①登下校のときは、マスクを外しましょう。マスクを外したら、近くでおしゃべりをしないで歩きましょう。

②体育や外遊びでは、マスクを外しましょう。

③教室の中では、人とはなれていて話をしないとき(テストや読書など)は、マスクを外してよいです。暑いときや息苦しいときも外してよいです。マスクを外したら、大きな声を出したり人の近くで話したりしないようにしましょう。

④理由があってマスクをつけたり外したりする人は、先生に伝えましょう。

*これまでどおり、「手洗い・必要な時のマスク・パンダ(人とのきより)」が大事です。